



福井で大会

## ハンガリー流 音楽教育学ぶ

「コダーイ・メソッド」の合唱指導を受ける参加者ら。11日、福井市のアオッサ県民ホール

ハンガリー発祥の音楽教育法「コダーイ・メソッド」を広める全国大会(福井新聞社後援)が11、12日、福井市のアオッサで開かれた。公開レッスンと分科会を通し、合唱技術や楽譜を読む力を培う同教育法を学んだ。

コダーイ・メソッドは、自国の重歌を大切にし、読譜力や合唱の「ハモる」力を育てるのが特徴。大会は日本コダーイ協会が毎年各地で開いている。県内では初めて。

初日のコーラス公開レッスンは、ハンガリーを代表する音楽教育者シャロシ・サボール・マールタさんが講師を務め、コダーイ・メソッドによる合

唱練習を上演。小中学生らに美しいハーモニーの秘けつを伝授した。分科会では、県内外の音楽教育に携わる人々が合唱技術のトレーニング法などを学んだ。大会実行委事務局長でNPO法人ふくい子どもための音楽教室講師の三輪真理さん(55)は「福井市は「保育士や学校教諭、教室講師などが実践し、県内にも根付くよう」に努めたい」と話していた。

12日は福井大の梅村憲子准教授(音楽)がコーディネーターを務め、小学校教員や音楽教室の指導者らがパネル討論。コダーイ・メソッドの授業への取り入れ方などをテーマに話し合った。(前田和也)